

六甲高山植物園 神出鬼没？！ ギンリョウソウモドキが今年も開花！

六甲山観光株式会社(本社:神戸市灘区 社長:妹尾昭孝)が運営を行っている六甲高山植物園では、菌従属栄養植物のギンリョウソウモドキが開花しました。

ギンリョウソウモドキは、葉緑素を持たず菌類に依存して栄養分を得ている植物です。6月に開花するギンリョウソウに似ていることからこの名が付けられました。花の時期以外は地上部がなく、条件がそろわなければ出てこないため、その姿を見ることは稀です。当園では2015年に開花を確認した後、2022年まで長期間にわたり地上に姿を現さない年が続きましたが、2023年度以降は毎年開花しており、多くの来園者の関心を集めています。



■ギンリョウソウモドキ (ツツジ科)

東アジア・北アメリカの温帯に広く分布し、日本では北海道～九州で見られます。林内のやや暗いところに生え、高さは10cm～30cm。菌類(菌根菌)から栄養分を得る菌従属栄養植物と呼ばれます。葉緑素を持たず、全体が白色でやや赤みを帯びます。秋に開花することから別名をアキノギンリョウソウと言います。

当園のギンリョウソウモドキは、あと1週間程度お楽しみいただける見込みです。



■寄生植物のナンバンキセル(ハマウツボ科)も開花中！

山や野に生える一年生の寄生植物です。葉緑体を持たないので、光合成をせずにススキやミウガなどの根から栄養や水分をもらって生きています。万葉集でも詠まれており「おもいぐさ」の名前ででています。園内では、9月下旬ごろまでお楽しみいただける見込みです。

■文化の秋「月曜こども無料キャンペーン」(ROKKO森の音ミュージアム共同開催)

文化の秋にちなみ、地域のこどもたちの文化的・自然学習の機会を拡充するため、学校行事の振替休日にあたることの多い、下記の月曜日に小学生以下の小人入場料を無料とするキャンペーンを実施します。

【日程】 2026年9月7日(月)、14日(月)、28日(月)、10月5日(月)、19日(月)、26日(月)、11月2日(月)、9日(月)、16日(月)

【対象】 小学生以下※両施設の単館入場券又は2施設共通券 ※団体利用は除く。※既に購入済みの入場券の払い戻しはできません。

◆リリースに関するお問い合わせ先

六甲高山植物園

TEL:078-891-1247 / FAX:078-891-0137

〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-150

◆営業概要

【開園期間】 開園中～11月29日(日) ※休園日あり。HPを要確認。

【開園時間】 10:00～17:00(16:30 チケット販売終了)

【入園料】 大人(中学生以上)900円 / 小人(4歳～小学生)450円

【駐車料金】 1,000円、繁忙日 2,000円(9月20日(日)～9月22日(火・祝))

※荒天により営業・イベントの内容を変更・中止する場合があります。



六甲高山植物園